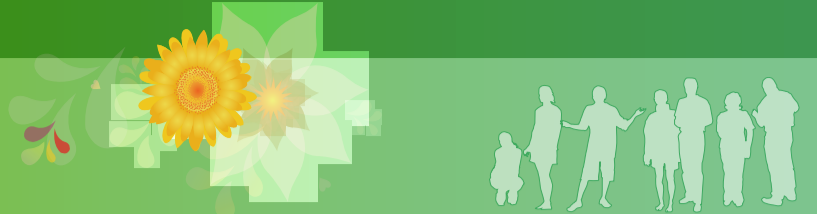


平成28年第3回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

永田 壮一 (自民)

生涯スポーツの推進について

- 問** 誰もが気軽に生涯スポーツに取り組めるよう、区は環境整備を図るべき。
- 答** 学校開放による場の提供、団体の活動支援、体育協会加盟団体以外の種目の情報収集・活用の検討等を実施。

柔道普及について

- 問** 柔道事故は指導で防止可能だ。区立学校に柔道部がない。創設可能か。マット運動に受身を導入できないか？
- 答** 希望があれば可能。十分な安全対策を講じるよう学校を支援する。



大坂 隆洋 (自民)

ちよくと放置自転車対策

- 問** ①コミュニティサイクルの今後は②放置自転車の状況把握と対策は。
- 答** ①隣接区との役割分担や費用負担等の課題があるが、継続運営を目指し来年度以降の方針を整理する②秋葉原駅周辺では減少。区全体ではその傾向にないため、今までの取り組みを検証し、より効果的な施策を拡大する。

神田川と日本橋川の安全確保

- 問** 法的な規制がない中、多くの船舶や水上バイクが河川を航行し危険である。安全性に対する認識と対策は。
- 答** 狭い河川に構造物もある。事故等の防止対策が必要。都は、注意喚起の掲示や運行状況等の調査を予定。ルール等の作成も検討するとのこと。区も都や関係区と連携し安全対策に努める。

米田 かずや (公明)

意思疎通に関する条例について

- 問** 障害者差別解消法が施行され、行政は相談に応じる法的義務が生じた。高齢者や障害者は情報入手、意思の伝達に支援が必要①支援のため取り組む施策は②専門の技能講習会の実施を。
- 答** ①出張所窓口等での手話サービスの拡大、意思疎通に取り組む事業者への助成制度を検討②職員、区民、事業者等に専門技能の講習会等を実施予定。

自転車の安全対策について

- 問** 自転車利用の増加により事故も増えている。有識者等による安全対策検討委員会の設置と、損害賠償保険加入義務を含む自転車条例を制定すべき。
- 答** 安全な利用のため千代田区自転車利用ガイドラインを策定。保険加入は個人責任。保険の有用性を周知する。

小林 たかや (声)

区民財産の不適切な維持管理

- 問** 区各施設の適切な維持管理のため①修繕カルテの作成②施設ごとの主治医(ビルディングドクター)が必要。
- 答** ①施設保全情報管理システムで工事記録を管理②日常管理は施設管理者、統括的管理は施設経営課が実施。

選挙に行こう手帳を作っては

- 問** 若者の投票行動を促すために区独自の「スタンプ帳」を作成しては。
- 答** インセンティブにより投票率をあげることは、公職選挙の意義を考えると異質。啓発に有効な計画を継続協議。



桜井 ただし (自民)

住宅付置に代わる新たな制度を

- 問** 活気ある街並みとするため、建物一階へ、後背地の中高層住宅と調和した商業施設等を誘導する制度が必要。
- 答** 地域事情に即した協力が得られる新たな制度に変更していく。

駐車場は面で考え街並みに寄与

- 問** 新築ビルには駐車場設置が義務付けられ、商業施設等を誘導しにくい。建物から区画ごとの義務に見直すべき。
- 答** 制度見直しも含め、所管の都と議論していく。



江戸時代の麹町通り (岩城樹屋呉服店)

岩佐 りょう子 (紡民)

ヘイトスピーチ対策法について

- 問** ①法の趣旨を踏まえ、どんな施策を検討するのか②公共施設等の団体利用について、可否判断の指針となるガイドラインの作成等を検討しては。
- 答** ①差別的言動がなくなるよう、更に積極的な普及啓発に努め、相談体制の充実を図る②他自治体の実例等を元に検討する。具体的事例の発生時は、関係部署が情報を共有し対応する。また、区内警察署との連携を強化する。

ドッグランの設置について

- 問** 未利用地や公開空地、屋上等を利用して設置できないか。場の提供は地域コミュニティの醸成にもつながる。
- 答** ニーズや地域コミュニティに対する効果等の検証が必要。運営主体や財源等の課題も含めて研究していく。